

令和元年度 石狩地区の研究活動

研究部長 北広島市立緑ヶ丘小学校
校長 佐々木 一 友

1 はじめに

石狩管内小中学校長会は、今年度、101名（小学校64校、中学校37校）の会員の総意の下で、新たな3年次研究計画を策定し、新たな時代の教育課題に対応するための研究活動をスタートしている。平成28年度～30年度までの研究計画においては、①全国・全道の研究大会の提言発表と関連した協議題、②新しい教育に対応する学校経営に関わる協議題、③新しい学習指導要領に対応する教育課程に関わる協議題を設定して、石狩の教育実践を積み上げてきた。



令和元年度～令和3年度の研究計画においても、ほぼ同様に3つの協議題に2つの課題、そして、課題ごとに2つの視点を基本として研究内容を設定している。また、喫緊の教育課題を優先し、協議題を設定し、全国・全道の提言発表を予定している場合には、各市町村からの資料提供を主な目的として春季経営研で先行提言することとしている。秋季経営研については、これまでと同様に、事例研究や講話を中心とする全体研と研究主題に迫る分科会を組み合わせ実施することとしている。

全国・全道校長会の研究内容との関連を重視し、また、北海道教育長期総合計画や石狩管内教育推進の重点とも関連させながら、管内教育や市町村教育の現状や実際を踏まえ、関係機関とも連携して石狩の教育の充実・発展を図ることとしている。

2 研究計画

(1) 研究主題

令和元年度～令和3年度（3年次計画）

「自立・協働し、未来を創る石狩の子どもを育成する学校教育の推進」
～「自立した人格」と「未来を切り拓く資質・能力」を育成する学校経営の在り方～

(2) 協議題・課題（※ 令和2～3年度は協議題のみ記載）

【第1協議題】令和元年度 「時代の要請に応える創意と活力ある学校経営の推進」

課題1) 学校経営ビジョンの実現と組織づくり

視点ア 未来を見据えた学校経営ビジョンの策定

視点イ 学校経営ビジョンの実現に向けた組織マネジメント

課題2) 学校改善を図る評価の充実

視点ア 教育の質の保証・向上を図る学校評価の在り方

視点イ 職員のやりがいを引き出す人事評価と働き方改革の在り方

【第2協議題】令和2年度 「社会の信頼・負託に応える確かな学校経営の推進」

【第3協議題】令和3年度 「社会の変化を柔軟に受け止め、子どもたちの確かな生きる力を育む学校経営の推進」

(3) 研究方法

全会員を対象とした管内研究会を毎年2回（春季・秋季）開催する。また、管内を2ブロック（A・B）に分け、ブロック校長研修会を年1回開催する。併せて、全国及び全道小・中学校長会の研究活動の一体化を図るとともに、石狩管内の研究関係機関及び団体との連携を密にした研究活動を推進する。なお、全連小秋田・秋田市大会、道小胆振・苫小牧大会、全中群馬・前橋市大会、道中空知・岩見沢大会への参加を含め、今年度研究の成果は、研究集録35号としてまとめ、成果課題を還流するとともに積み上げる。

3 研究の概要、研究活動等

(1) 管内小中学校長会研究会の企画と運営

【春季学校経営研究会】(4月開催済)

- 全体会 研究計画説明 中川幹彦(管内校長会 前研修部長)
道小・道中大会提言概要説明 吉田篤弘(千歳祝梅小)、佐藤 誠(千歳北斗中)
- 研究協議 2の(2)の課題1に準ずる。
- 分科会協議 小学校分科会提言: 渡會朋広(石狩生振小)、佐々木一友(北広島緑ヶ丘小)
中学校分科会提言: 水野 厚(江別中央中)、安保幸司(千歳向陽台中)

【秋季学校経営研究会】(11月開催済)

- 参加報告 道小・胆振苫小牧大会 山口 浩(恵庭柏小)、全連小秋田・秋田市大会 石橋浩明(石狩厚田小)
道中空知・岩見沢大会 濱本賢一(恵庭恵北中)、全日中群馬・前橋市大会 前川 茂(新篠津中)
- 全体会 講話「校長に期待すること」 北海道教育庁石狩教育局長 堀本 厚 氏
- 研究協議 2の(2)の課題2に準ずる。
- 分科会協議 小中学校合同の4分科会小中共通課題で協議する。
A分科会提言: 大浦 浩(石狩浜益中) B分科会提言: 鎌田俊博(江別大麻西小)
C分科会提言: 多田貴典(千歳勇舞中) D分科会提言: 加藤敏幸(恵庭松恵小)

(2) 全連小・全日中・道小・道中研究大会対応と参加体制の確立(9~10月対応済)

- ① 道小胆振・苫小牧大会 第1分科会提言 吉田篤弘(千歳祝梅小) 32名参加
- ② 道中空知・岩見沢大会 第2分科会提言 佐藤 誠(千歳北斗中) 16名参加
- ③ 全連小秋田・秋田市大会 提言なし 7名参加
- ④ 全日中群馬・前橋市大会 提言なし 7名参加 ※次年度石狩分科会提言あり

(3) ブロック別校長研修会の開催(9月開催済)

- ① 午後日程で、南(A)と北(B)の2ブロックで開催する。
- ② Aブロック校長会研修会(千歳、恵庭、北広島) 千歳市開催
研究協議提言 谷口みどり(恵庭恵み野小)、城野文久(北広島西部中)
Bブロック校長会研修会(江別、石狩、当別・新篠津) 江別市開催
研究協議提言 吉田光岐(石狩小)、前川 茂(新篠津中)

(4) 研究集録第35集の発行(2月予定)

- ① 令和元年度(1年次/令和元年度~令和3年度研究計画)の研究内容のまとめ

4 おわりに

今年度は、道小と道中の各研究大会で石狩の教育研究を分科会で提言発表させていただき、改めて、これまでの石狩の研究活動で積み上げてきたことを踏まえ、新たな課題に対応するためにも、石狩の教育の組織的研究を深めながら、校長としてのより一層の資質や力量の向上に努めていかなければならないと(研修部としても)強く感じたところである。

校長として、これからの時代に求められる資質・能力について、学校と家庭・地域が共通理解のもと学校教育を推進できるようにするとともに、未来を見据えた明確な学校経営ビジョンを示し、活力ある学校運営を行い、学校改善に向けて絶えず評価・刷新していかなければならないことを共有することができたところでもある。

校長は、まず自校の実態から課題を明確にすることが大切であり、不易の部分の踏まえつつ、流行の部分に十分に目を向け、重点化と効率化を図りながら、実効性のある解決策を見出していくことを研究協議し、各種研究会や研修の場においても確認することができた。

新たな研究主題でスタートした初年度研究活動の成果をしっかりと共有し、校長として、子どもたちが生きる未来社会を見据えた明確な学校経営ビジョンをもち、創意と活力に満ちた学校経営を推進していくための学校組織の在り方、そして、学校改善に結びつく評価の在り方についての実践を、これからも(管内)組織的に積み上げてまいりたい。(11月現在)